

「ふくすいき ~福水企~」通信

平成30年12月号



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき~福水企~」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

【特報】福岡導水施設地震対策事業の事業実施計画が認可されました！

昭和58年から筑後川の水を福岡都市圏へ供給している福岡導水施設の耐震補強や老朽化施設の補修等を目的とした福岡導水施設地震対策事業に関する事業実施計画が、11月19日付けで厚生労働省から認可されました。

【事業概要】

事業主体：独立行政法人水資源機構

位置：久留米市（筑後川）～大野城市（牛頸浄水場）

工期：15年間（2018年度～2032年度）

事業費：約290億円

工事内容：①大規模地震対策（取水施設等 耐震補強，トンネル等 併設水路築造）

②老朽化対策（水管橋，トンネル 補修）

認可に伴い、福岡導水管理室は施設の管理業務に加えて地震対策事業を実施するため、福岡導水総合事業所に改められることになり、11月27日に開所式が行われ、当企業団からは橋本副企業長ほか職員3名が参加しました。

本事業は、当企業団の水の安定供給につながる事業であり、一日も早く事業効果が発現されるよう、事業主体である独立行政法人水資源機構と協力して進めてまいります。

<計画課 江頭>



開所式の様子

●**福岡都市圏総合水対策研究会の現地視察研修【参加しました】〔11/5(月) こいしわらがわ小石原川ダム外**

福岡都市圏総合水対策研究会(※)の現地視察研修が、朝倉市に建設中の小石原川ダムと福岡導水施設(筑紫野市にある山口調整池)で行われ、36名が参加しました。

小石原川ダムは、平成31年度の完成に向けて、平成28年から工事が行われており、洪水調整や水道用水の確保などのダム建設の目的や建設工事の状況等の説明の後、山腹から堤体の工事現場を見学しました。工事現場では、ドローンを活用した測量や出来形管理の様子を遠目にですが確認することができ、技術の進歩に目を見張る思いでした。

また、福岡導水1号トンネルと2号トンネルの間に位置する山口調整池において、渇水時の施設であることの説明を受けた後、福岡導水施設の地震対策などについて話をうかがいました。

なかなか行く機会のない現場で貴重な話を伺えて、大変有意義な研修でした。 <総務課 中川>



建設中の小石原川ダム



山口調整池での説明

※福岡都市圏総合水対策研究会：福岡都市圏における総合的水対策の推進を図る調査研究を目的として、福岡都市圏17市町（10市7町）の水道事業関係者で構成。

●**筑後川水道三企業団協議会事務部会先進地視察【参加しました】〔11/8(木)・9(金) 神奈川県横浜市]**

筑後川水道三企業団協議会(福岡県南広域水道企業団、佐賀東部水道企業団、当企業団で組織)の事務部会における調査・研究の一環として、各企業団の職員計7名で他団体の視察を行いました。

1日目の神奈川県内広域水道企業団は、災害対策本部の常設化を行っており、常設化前は空き会議室でその都度の災害対策本部を設営し、パソコン類や電話・LAN配線などの準備に1時間程度要していましたが、災害対策本部専用の部屋を確保し、パソコン類や配線を常設することで、電源を入れるだけで災害対策本部の立ち上げができるようになったとのこと。

災害対策本部には、本庁舎内で迅速な意思決定ができるようテーブル、イス、スクリーン及び大型TV等が設置されており、2取水口・4浄水場の状況が監視カメラによりリアルタイムで確認できるほか、供給点における水量一覧等も確認できるようになっていました。

また、常設化の際は、パソコンやプロジェクター等の機材は既存のものを利用し、できるだけ経費がかかからないようにして、大型TVや監視カメラ等は徐々に購入したとのことでした。

2日目は、横浜市水道局 こすずめ小雀浄水場にて、浄水汚泥の下水放流、ろ過池への異物混入を防ぐためのの覆蓋化、太陽光発電等の視察を行いました。

そのうち浄水汚泥の下水放流では、導入の経緯、浄水場での処理から汚泥処理センターへの送泥に至るまでのフロー等について説明を受けました。

両団体の取組を参考に、当企業団においても実現可能なものは、積極的に導入を検討していきたい
と思います。 <総務課 志藤>



常設化された災害対策本部



小雀浄水場

● **筑後川・矢部川水質事故対策訓練【参加しました】〔11/9（金）佐賀県神埼市（城原川）〕**

筑後川・矢部川水質事故汚濁対策連絡協議会（事務局：国土交通省筑後川河川事務所）の主催で、平成5年から水質事故訓練が実施されています。この訓練は、水質事故発生時の体制整備と関係者の意識向上を図ることを目的に実施されており、当企業団から職員3名が参加しました。

今回はロープの結び方指導から始まり、タンクローリーから油が流出したことを想定した実践的な訓練として、流出が広がるのを防ぐためのオイルフェンス・油吸着マット設置訓練、土のう積みによる流下拡散防止訓練、比色法による簡単な水質分析器具（パックテスト）等を使った水質分析訓練を行いました。また、パネルを用いて魚の突然死とその原因、識別等の解説もありました。

水質事故時は迅速で的確な対応が要求されるため、実践的な訓練に参加する重要性を再認識できました。

<水質センター 岡村>



土のう積みによる流下拡散防止訓練



簡易水質分析訓練

※訓練の様子を YouTube にアップしておりますのでご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=6Itws58JbS4&feature=youtu.be>

● **平成30年第4回幹事会の開催【開催しました】〔11/12（月）企業団運営協議会室〕**

当企業団構成団体（6市7町1企業団1事務組合）の水道関係の部課長を幹事とする平成30年第4回幹事会を開催しました。

幹事会では、11月21日開催の用水供給事業促進対策委員会に提出する長期財政収支見通しの見直し及び第13次財政収支計画等について説明しました。

<総務課 志藤>

●江川・寺内ダム関係利水者会議 平成30年度後期提言活動【出席しました】〔11/19（月）・20（火）東京都千代田区，埼玉県さいたま市〕

江川・寺内ダム関係利水者会議による平成30年度後期提言活動が行われ，当企業団からは^{いぎやま}諫山企業長ほか職員1名が参加しました。

平成31年度の完成に向け建設中である小石原川ダムの早期完成と調査が進められている筑後川水系ダム群連携事業の事業計画策定について，国土交通省，厚生労働省，財務省，地元選出国會議員，独立行政法人水資源機構へ提言書を提出しました。

<計画課 江頭>



意見交換の様子((独)水資源機構)

●用水供給事業促進対策委員会・現地視察〔11/21（水）当企業団本庁舎委員会室，小石原川ダム〕

企業長の諮問機関である用水供給事業促進対策委員会（企業団議員全員で構成）を開催し，

- ① 福岡地区水道企業団水道ビジョン2018（案）について
- ② 福岡地区水道企業団長期財政収支見通し2018（案）及び第13次財政収支計画（案）（2019年度～2022年度）
- ③ 五ヶ山ダム試験湛水中の料金減免について
- ④ 総合評価方式について
- ⑤ 海水淡水化センターの運転・維持管理等（2020年度以降）について

の議題について説明と質疑が行われました。

また，委員会終了後，監査委員と合同で小石原川ダムの現地視察を行い，ダム建設の現状について，事業を行っている独立行政法人水資源機構朝倉総合事務所から説明を受けました。<総務部 御幡>



小石原川ダム建設状況の説明を受ける委員



小石原川ダム本体工事の様子

● ^{やんば}八ッ場 ダム視察〔11/30（金）群馬県吾妻郡 ^{ながのはら}長野原 村〕

筑後川水道三企業団協議会の調査・研究として三企業団の各企業長ほか職員 2 名で、工事中の八ッ場ダム事業を視察しました。

八ッ場ダムは、総貯水量 1 億 750 万 m^3 で、洪水調整、新規都市用水の供給、流水の正常な機能の維持、発電を目的に利根川上流の吾妻川の山岳地帯に建設されており、昭和 22 年のカスリーン台風の被害を発端に昭和 27 年の実施計画調査着手後、平成 4 年に基本協定書、平成 13 年に補償基準が調印されましたが、平成 21 年の工事入札の延期、中止の方針表明、検証、そして平成 23 年に事業継続が決定され、調査開始から 67 年後の平成 31 年に完成予定です。

ダム所在地である群馬県長野原町は、課題である少子高齢化と人口減少に対応するため、川原湯温泉、「関東の耶馬溪」吾妻峡などの観光資源と八ッ場ダムをいかし、交流人口の増加を目指しています。

地域住民と行政機関等が連携して、ダム建設工事、温泉地の代替地整備、景勝地との回遊性確保等をコンテンツ化し様々な見学会を実施しています。今年度、すでに 10 万人を超える見学者が訪れ、さらに、インフラツーリズム先として観光業者も旅行商品をつくっています。

安全で良質な水道用水を安定的に供給していくことが企業団の使命ですが、生活や経済を支えるインフラ事業を周知するために観光は有効な手段だと感じました。

なお、今回の視察では、利根川、荒川及び多摩川の水を利用し、日量 126.5 m^3 /日の能力がある（うち高度浄水処理は 88 万 m^3 /日）東京都の東村山浄水場、江戸時代から現代までの江戸・東京の水道の歴史を展示した東京都水道歴史館も調査視察しました。 <総務課 羽井>



八ッ場ダム上流側



八ッ場ダム下流側



東村山浄水場

水力発電設備：貯水池と浄水場の高低差を利用して発電し、場内設備で利用。



水道歴史館パンフレット

■ 水源地域との交流事業

実施レポート

●200 海里の森づくり・植樹〔11/10（土）大分県日田市中津江村〕

筑後川上流域の森づくりを通して、有明海の水質環境づくりに貢献し、200 海里につながる豊かな水資源を未来の子どもたちに引き継ぐことを目的として、200 海里の森づくり実行委員会の主催により、日田市中津江村において植樹活動が行われました。

当日は、（一財）中津江村地球財団や中津江村農林業支援センターなど地元関係者の方をはじめ、福岡都市圏からは、太宰府市民40人や福津市民44人、大野城市、春日那珂川水道企業団、須恵町、福岡都市圏広域行政事業組合、当企業団の職員など約100名が参加しました。

地元の方から植樹方法の説明を受けた後、広葉樹及び低木など約300本を植樹しました。

植樹終了後は、バーベキューでの昼食・交流会で親交を深めるとともに、鯛生金山の入坑や砂金採りの体験で楽しみました。

参加者の皆さんは、植樹活動を通して水や森づくりの大切さを実感されたことと思います。

〈総務課 田子森〉



植樹の様子



広範囲に植樹



子どもたちで植樹



昼食・交流会



鯛生金山体験



参加者全員で記念撮影

●第 18 回水をつなぐ流域交流 in 下戸河内〔11/18 (日) 朝倉市江川〕

朝倉市江川地区において、福岡都市圏の住民の皆さんが、水源地域の住民の皆さんとの交流を通して、水の大切さや水を守る地域について理解を深めることを目的として、小石原川ダム・江川残存地区下戸河内ダム対策協議会の主催による交流会が開催されました。

当日は、地元の皆さんや福岡市堤校区の皆さん、独立行政法人水資源機構、小石原川ダム建設に携わるJV事業者、福岡県南広域水道企業団、朝倉市、福岡市、当企業団の職員など約 140 名が参加しました。

まず、下戸河内地区の伐採地にエゴノキ、ヤマボウシの苗木 100 本を植樹しました。その後、この行事のために整備された特設会場で開会式を行ったあと、ミニ運動会を行い会場は大いに盛り上がりました。

昼食・交流会では、地元婦人会による焼き鳥、猪肉、豚汁など地元の食材を使った昼食をいただいた後、餅つきやさつまいもの収穫体験を行いました。

これらの体験を通じて、参加者全員が交流を深めるとともに、都市圏の皆さんが水の大切さや水源地域のことを知る良い機会になったと思います。

＜総務課 田子森＞



植樹の様子



植樹会場



交流会会場



林朝倉市長の
あいさつ



ミニ運動会（玉入れ）



さつまいもの収穫体験

●小石原川・佐田川「ノーポイ」運動〔11/19 (月) 朝倉市佐田〕

江川ダム及び寺内ダム周辺において、独立行政法人水資源機構と甘木漁業協同組合の共催で、小石原川及び佐田川流域の河川愛護・水産資源保護を目的とした清掃活動が実施されました。

寺内ダム周辺では、大野城市、太宰府市、春日那珂川水道企業団、福岡都市圏広域行政事業組合、当企業団の職員、水資源機構の職員など 67 名が 7 班に分かれ、ダム湖周辺の空き缶、ペットボトル、びんなどのゴミを回収し、リサイクルや適正処分のための分別作業を行いました。回収したゴミは小石原川と佐田川を合わせて 530 kg にものぼりました。

大切な水資源や美しい環境を守るとともに、人々のマナー意識の向上を願って、今後も河川美化運動に積極的に参加してまいります。

＜総務課 田子森＞



ゴミ回収の様子



回収ゴミの分別作業



佐田川班の記念撮影

●市民参加の森づくり大会（植樹）〔11/25（日）大分県日田市〕

日田市では、森林の有する公益的機能を守り育てていく機運を高めるとともに、上下流域住民の交流・親睦を深めることを目的として、毎年、「市民参加の森づくり大会」を開催しています。

今年は、日田市萩尾公園の市有林で開催されました。

当日は、福岡都市圏の住民 74 名をはじめ、日田市のみどりの少年団、久留米市の市民や日田市、久留米市、福岡市、大野城市、春日那珂川水道企業団、当企業団事務局の職員など約 240 名が参加しました。

開会式では、水源地域を守る日田市に、日頃の感謝の気持ちを込めて、当企業団、福岡市水道局、久留米市上下水道部からそれぞれ苗木を贈呈いたしました。

参加者の皆さんは、萩尾公園横の 6,700 m²の広さの場所にヤマザクラ、ケヤキ、ヤマモミジなど 1,300 本の苗木を植樹し、それぞれの思いを記した記念プレートを吊るしました。

植樹終了後は、だんご汁やシシ肉のジビエ料理の昼食をいただいた後、福岡都市圏の住民の皆さんは天領時代の古い街並みが残っている豆田町に立ち寄り、思い思いに散策されていました。

今回の植樹により、災害に強い森づくり、森林に対する理解や関心が高められ、また、上下流域住民の交流・親睦も深められたことと思います。

＜総務課 田子森＞



苗木の贈呈式



記念撮影（福岡都市圏など）



広範囲に植樹



植樹の様子



記念プレート



豆田町散策

■ 構成団体・水源地域の主なイベント 【お出かけください】

12月, 1月の予定

● 大善寺玉垂宮の鬼夜 (1/7 (月) 久留米市大善寺町)

(公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました)

「大善寺玉垂宮の鬼夜」は、大晦日の夜から正月7日まで行われる「鬼会」の最終日に行われる行事で、1600年余りの伝統があり、日本三大火祭りの一つに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

仁徳天皇56年(368年)1月7日、勅命により藤大臣が、当地を荒し人民を苦しめていた賊徒・肥前国水上の桜桃沈輪を、闇夜に松明を照らして探し出し、首を討ち取って焼却したのが始まりだと言われています。



大松明廻しの様子

1月7日は、「鬼面尊神渡御・還御」や「汐井汲み神事」、「シオイカキ」といった神事後、21:00頃、二番鐘が打たれた後に、暗闇の中、奥神殿から鬼火(大晦日の夜神官が燧石で取った御神火)が出て、一斉に大松明に点火されます。

その後、燃え盛る大松明の前で「鉾面神事」が行われます。この「鉾面神事」は10分足らずと時間は短いのですが、古式にのっとった、赤・青の天狗による相克の「魔払い神事」で、鬼夜の起源を表すとも言われています。

そして、いよいよ「大松明廻し」が始まります。長さ約13m、重さ約1.2tの「日本一」といわれる大松明6本が、紅蓮の炎を上げて燃え上がり、それを数百人の締め込み姿の氏子若衆が、「カリマタ(先が二又になった檜の棒)」で支えて、本殿を廻る様は圧巻です。その間、鬼は姿を隠したまま、シャグマの子どもたちに囲まれて鬼堂の周囲を7回半回ります。

この鬼の堂回りが終わると、一番松明が「惣門くぐり」を行います。これは、一番松明だけの特権で、燃え盛る大松明が狭い惣門をくぐり抜ける様子も見事です。

その後、鬼はシャグマ※の子どもや棒頭に護られて、密かに汐井場で禊をし、神殿に帰ります。鬼が神殿に戻ると、明りが灯されるとともに、厄鐘が、7・5・3と打たれ、行事が終わります。

なお、大松明の火の粉を浴びると無病息災といわれ、毎年、家内安全、災難消除、開運招福を祈願する多くの方々に賑わいます。

※ シャグマ：人の世ともう一つの世界(異界)との間を守る存在(「筑後の年中行事 12ヶ月 篠原正一著」とされ、特異な被り物を付けた鬼の警護役)

日 時 平成31年1月7日(月) 13:00~23:30頃

※ 大松明点火は21:00過ぎ頃~

開催場所 大善寺玉垂宮(久留米市大善寺町宮本1463-1)

問い合わせ先 大善寺玉垂宮社務所 TEL 0942-27-1887

■ 知ってる！？ 筑後川のはなし

このコーナーでは、筑後川について、より知識を深め、親しんでいただくために、筑後川流域の観光、イベント、特産物、史跡などの情報を掲載しています。

今回は、小国町の「旧国鉄^{みやのはる}宮原線のアーチ橋」を紹介します。

旧国鉄宮原線は九重^{ここのえ}町の久大線^{えら}恵良駅と肥後^{ひご}小国^{おぐに}駅を結んでいた約26kmの路線で、起点の恵良を含めて宝泉寺^{あそづる}、麻生^{きたざと}釣、北里など6駅があり、国道387号線近くを走っていました。

同線は昭和12年から建設を始め昭和29年に全通しましたが、昭和59年に全線廃止されました。山間部を走っていたため8基のアーチ橋が掛けられ、7基が現存しており文化庁の登録有形文化財に指定されています。

最長の幸野^{こうのかわ}川橋梁は全長116mのコンクリート造り6連アーチ橋で、筑後川水系^{ちみき}椛木川と県道318号線に架けられ、橋脚部分に3つの透かし穴があります。

また、北里橋梁は、全長60mのコンクリート造り5連アーチ橋で、二つの橋梁を含む旧北里駅から旧肥後小国駅までの約5kmの廃線跡は、遊歩道となっています。

<総務部 山北>



幸野川橋梁



北里橋梁



○幸野川橋梁への交通・アクセス

大分自動車道 九重ICから国道387号線 県道318号線経由で約20分(約21km)

○北里橋梁への交通・アクセス

大分自動車道 九重ICから国道387号線経由で約20分(約19km)

水 源 情 報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
「水源情報」が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>

編 集 後 記

平成 30 年も残りわずかとなりましたが、今年は 6 月の大阪北部地震、7 月の西日本豪雨、7 月～8 月の連日 40 度超えの猛暑、9 月の台風 21 号の影響による関西空港の閉鎖、さらには連絡橋へのタンカー衝突による一時孤立、北海道 胆振 東部地震に伴う国内初のエリア全域停電など多くの自然災害が発生した中で、慌ただしい年の瀬を迎えようとしています。

一方で、2020 年東京五輪のマスコットに福岡市出身のイラストレーターの作品が決定、小惑星探査機「はやぶさ 2」が小惑星リュウグウ上空約 20km に到着、自動車耐久レースの最高峰ルマン 24 時間耐久レースで日本車による日本人ドライバー初の総合優勝、バイクレースの最高峰MotoGPに日本人ライダー 4 年ぶりにフル参戦など、未来に向かって明るい話題もあり、来年はきっといい年になるのではないのでしょうか。

今年も一年間「ふくすいき」作成に当たりご協力いただきありがとうございました。

来年もよろしくお願いたします。よいお年をお迎ください。

<老ライダー>

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いたします。

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

牛頸浄水場と海の中道奈多海水淡水化センターを見学しませんか。

○ 牛頸浄水場（九州最大級の浄水場）

○所在地

〒816-0971 大野城市牛頸一丁目1番1号

○見学日

・月曜日から金曜日（祝日、年末年始期間を除きます）

○TEL 092-596-5021 FAX 092-595-3065



牛頸浄水場急速ろ過池

○ 海の中道奈多海水淡水化センター（日本最大規模の海水淡水化施設）

○所在地

〒811-0204 福岡市東区大字奈多 1302 番 122

○見学日

・月曜日から金曜日

・毎月第3日曜日

・水道週間（6/1～6/7）期間内の土曜日と日曜日
（祝日、年末年始期間を除きます）

○TEL 092-608-6262 FAX 092-608-6256



海水淡水化センター施設内部

○ 企業団HPで各施設の予約状況を確認することができます。

見学を希望される場合は、7日前までに電話で予約のうえ、書面による申込み（FAXまたは郵送）をお願いします。

※ 施設見学の予約状況の確認、申込書（様式例）のダウンロードはこちら

<http://www.f-suiki.or.jp/facility/facility-guides/>

福岡地区水道企業団では、企業団ホームページやSNS（Facebookページ、Twitter）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事やSNSで発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思ってくださった方は、ぜひ、SNSの機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団HP

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

f 福岡地区水道企業団

